

# 令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（音楽）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は7問4ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校 音楽

1 次の(1)～(5)に答えよ。

- (1) 篠笛の奏法「指打ち」について説明せよ。
- (2) 雅楽の用語「塩梅」について説明せよ。
- (3) 「Largo」の用語の読み方と意味を記せ。
- (4) 「Meno mosso」の用語の読み方と意味を記せ。
- (5) c moll の旋律的短音階について上行形・下行形の順に全音符で記せ。

2 次は、ある楽曲の一部分を示したものである。下の(1)、(2)に答えよ。



- (1) この楽曲の曲名と作曲者を漢字で記せ。
- (2) この楽譜を G dur に移調して記譜せよ。

3 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) ギターの演奏において、アポヤンド奏法とアル アイレ奏法の違いについて説明せよ。
- (2) 次のア～ウにあてはまることばをそれぞれ記せ。

三味線は、中国の「サンシエン(三弦)」が琉球に伝来して(ア)となり、それが16世紀後半に本土へ伝わって日本独自の楽器に変化したものと考えられている。棹の太さや胴の大きさ・重さによって、細棹、(イ)、太棹の3種類に分類できる。

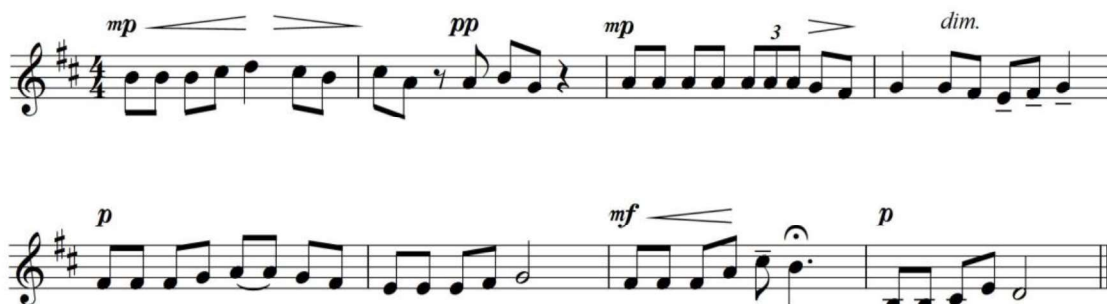
主な調弦法には(ウ)、二上り、三下りがあり、他の楽器と合わせて演奏するときは、それらに応じて基準となる音の高さを変えて演奏する。

- (3) 次の①～③は、ある楽器の説明文である。それぞれにあてはまる楽器名を記せ。

- ① アラブ諸国の音楽で用いられる弦楽器で、弦をはじいて音を出す。
- ② ヨシという植物で作られる縦笛で、ペルーなどアンデス地域で用いられる。
- ③ 朝鮮半島に伝わる弦楽器の一つで、12本の弦を右手の指先ではじいて音を出す。

4 次は、ある楽曲の一部分を示したものである。この旋律にオブリガートを加えてアルトリコーダーで演奏したい。オブリガートを作曲し、解答用紙の楽譜に記せ。ただし、中学生がアルトリコーダーで無理のない演奏ができる音域とすること。

5 次は、共通教材の楽曲の一部分を示したものである。下の(1)，(2)に答えよ。



- (1) この楽曲の作詞者と作曲者を漢字で記せ。
- (2) この楽曲を歌唱教材として第2学年で扱う場合、次の①，②に答えよ。
- ① 創意工夫を生かした表現で歌うことをねらいとした場合、課題となることを具体的に記せ。
  - ② ①で記した課題を解決するための手立てを具体的に記せ。

6 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次は、中学校学習指導要領「第2章 第5節 音楽」の「第2 各学年の目標及び内容 [第2学年及び第3学年] 2内容 A表現」の一部である。①～⑤にあてはまることばを記せ。

- (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、( ① )のある創作表現を創意工夫すること。
- イ 次の(ア)及び(イ)について、表したい( ② )と関わらせて理解すること。
- (ア) 音階や言葉などの特徴及び音の( ③ )の特徴
- (イ) ( ④ )の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や( ⑤ )などの技能を身に付けること。

- (2) 音楽科の学習において、自然音や環境音、さらには、音環境への関心を高めることによって、生徒にもたせたい意識を簡潔に説明せよ。
- (3) 体を動かす活動として指揮を取り入れる場合、指導上留意すべきことは何か、記せ。

7

次の(1)，(2)に答えよ。

(1) 第1学年において，歌唱教材『ソーラン節』を用いて，日本の民謡の鑑賞と関連付けた2時間の授業を計画する。次の①～③に答えよ。

- ① 『ソーラン節』は，どの地域で歌い継がれている民謡か，都道府県名を記せ。
- ② あなたがこの授業を展開する場合，どのような題材名を設定するか，記せ。
- ③ ②で記した題材名で授業を展開するとき，この教材において，生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を2つ記せ。また，その理由を簡潔に説明せよ。

(2) 次は，中学校学習指導要領「第2章 第5節 音楽」の「第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2内容 B鑑賞」の一部である。第3学年において，鑑賞教材『ボレロ』を用いて，指導事項ア(ア)及びイ(イ)を身に付けさせようとする2時間の授業を計画する。下の①～③に答えよ。

(1) 鑑賞の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の(ア)から(ウ)までについて考え，音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

- (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠
- (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
- (ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

- (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
- (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わり
- (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性

- ① 『ボレロ』の作曲者を記せ。
- ② 題材名を「曲想と音楽の構造との関わりを理解して，オーケストラの響きを味わおう」とする場合，2時間の学習内容を具体的に記せ。
- ③ 指導事項イ(イ)については，第1学年にも同様の指導事項が示されているが，第3学年において学習が一層深まっていくようにするためには，どのような点に配慮すべきか，記せ。